

ニホンカモシカ

(2003年2月28日午前8時ごろ 黒鼻山)

くに てんねんきねんぶつ しゃしん こども
国の天然記念物。写真は、まだ子供のようです。

いずみがたけ す どうぶつ よる かつどう
泉ヶ岳に棲むほとんどの動物は夜にばかり活動し

ますが、ニホンカモシカは明るい時間にも活動します。

あしこし つよ ほか どうぶつ こ
足腰が強く、他の動物がやって来られないような

きゅうしゃめん げんき か あ
急斜面でも元気よく駆け上がります。

「シカ」とついでいますが、鹿の間ではなく、

うし なかま くさ き め た
牛の間です。草や木の芽を食べます。



こちらは同じ場所に現れた、大人のニホンカモシカです。大きく、毛の色もずっと黒ずんでいます。



目の下にある穴のようなものは「眼下腺 (がんかせん)」といって、匂いを出します。ここを木の幹にこすりつけ、自分のナワバリを知らせます。

